

## 会 議 録

### 1 会議名

令和7年度 第12回新道区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 報告事項（公開）

・上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について

#### (2) 自主的な審議（公開）

・自主的審議事項について

### 3 開催日時

令和8年3月24日（火）午後6時30分から午後7時53分まで

### 4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

### 5 傍聴人の数

なし

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）

・委員：池亀副会長、草間委員、越水委員、佐藤委員、杉田委員、千町委員、  
田木委員、塚田委員、南保委員、船崎会長、山本委員、横田委員、  
横山副会長、渡邊委員、（欠席なし）

・資産活用課：丸山係長、長ヶ部主事

・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長

### 8 発言の内容（要旨）

#### 【渡邊係長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

#### 【船崎会長】

・会議の開会を宣言

#### 【渡邊係長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務め

ることを報告

【船崎会長】

- ・会議録の確認：千町委員に依頼

次第2 議題「(1) 報告事項」の「上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応(案)について」に入る。本件の担当課である資産活用課へ説明を求める。

【資産活用課 丸山係長】

- ・挨拶
- ・資料No.1-1、No.1-2、No.1-3に基づき説明

【船崎会長】

ただ今の説明について、質問はあるか。

【佐藤委員】

以前、「芙蓉荘」をできるだけ早期に解体・撤去したいと担当課が説明していた。休廃止した建物をその後どう処分するのが全く書かれていない。方針はあるのか。

【資産活用課 丸山係長】

当課の資産活用係が休廃止後の施設の活用について所管課と一緒に協議しており、適時検討しているため、具体的な計画はない。観光物産センターのように、「新潟県けんこう財団」の健診機関になる例もある。できるだけ次にどうするかを決めてから廃止しようと進めてはいるが、実態が伴っていないこともあり、もどかしく感じられると思う。

【佐藤委員】

資産活用課は全体の施設を見ていて、市場調査等で再利用を進められるものはよいが、中山間地の廃校舎等の処理を実際に行うのは各課や教育委員会で縦割りだ。廃止された建物で、廃墟のようにになっているものもある。中山間地なら廃墟になっても目立たないからいいという考え方なのか分からないが、高田や直江津地区の建物は解体の方向で少しずつ進んでいるように見える。中山間地はそのままでも人がいなくなっていくからと、放置されているようで、全然話が進まないという問題が一つ。

資料No.1-3の3ページの表に耐用年数の記載がある。鉄筋コンクリート造、これは減価償却の耐用年数だと思うが、昭和50年代の施設は建てられてから40年以上経っており、耐用年数を迎えている。大規模改修はいつ行うのか。インフラ長寿命化基本計画に、何年後に大規模改修をしないと建物が持たないという数字が出ている。耐用年数が出ているのであれば、何年後にこう進めるといった情報もきちんと地域に伝えてほしい。建物を

ただ残して維持管理だけでボロボロになって、旧城南中の校舎のようにずっと残って廃墟になるのはみっともない。資産活用課できちんと整理して、ある程度年数が過ぎたら除却していく方向で少しずつ進めないと、不良資産だけが残って、維持管理費がどんどん嵩むことになるので、しっかり考えていただきたい。

**【資産活用課 丸山係長】**

中山間地に廃校舎が残っているのは実態としてあり、その部分の取組が遅れていた。ただ、ここ1、2年、13区の施設を廃止する協議では、住民からその後どうするのか、建物が残ったままだと危険なので除却してほしいという話が出ており、令和8年度予算では、建物の解体・除却等に約10億円を計上し、力を入れて進めていく。国の支援も活用し、計画的に進めていきたいが、限られた財源の中で全てをすぐに除却するのは難しい。優先順位を付け、地元の声も聞きながら、危険な箇所から除却を進めていく。

資料No.1-3の3ページの表について、既に耐用年数を経過しているものもある。これまでは市の財政事情もあり、壊れてから直すといった、事後対応になっている面があったが、そこは適正配置の検討と合わせて、長寿命化などについても具体的に取り組んでいければと考えている。現時点でお示しできるものはないので、本日いただいた意見も共有し検討していく。

**【佐藤委員】**

塩化カルシウムの散布等から鉄筋コンクリートが腐食して膨張し、コンクリートが割れている箇所が結構あるということで、市では橋を調査し、補修工事にかなり力を入れた。その前に各小学校の構造物を全て耐震化した。しかし、躯体は強くしても、昭和50年代は水コンクリートなので品質がかなり悪く、毛細クラックがたくさん入っていて、結局雨漏り等の補修をしないと、建物がボロボロになって維持管理できなくなる。例えば、富岡小と稲田小を残すのであれば、5年後に大規模改修を実施することを計画に入れ進めてほしい。同じ時期に設置した建物が多く、順番を決めて対応していかないと不良資産だけが残ってしまうと危惧する。その点を検討していただきたい。

**【資産活用課 丸山係長】**

国の施策や市の財源を有効に活用しながら、資産活用課を中心に計画を立てていきたいと思う。進展があれば改めて報告させていただく。

**【船崎会長】**

例えばこの公民館のような施設は全区にあると思うが、この公民館は狭い。「芙蓉荘」

の廃止後の計画も今のところはない。新道区は南北に長く、住民が集まれるのはこし  
かない。車を運転できなければ、バスなどを使わなければならないが、南部の鴨島・子  
安・とよばからこちらへ来るバスはない。稲田から富岡へ行くバスはあるが、南部から  
ここへ来る公共交通機関はない。家族が送迎してくれればよいが、平日は勤めているの  
で難しい。他の地区でも同じような状況なのか。もしあれば、計画の中で改善してい  
ただかないといけない。施設の廃止は構わないが、その後どうするかをあらかじめ計画  
しておかないと、ただ廃止するだけでは、その後どうするのか分からなくなる。

特に学校関係は、廃止してそのままにしておくわけにはいかない。財源の問題はある  
にせよ、そういう点を優先的に考えて進めるような体制をとってもらわないと、地域住  
民は非常に困る。住民税を納めているのだから、そういうものを整備してもらわないと  
住み心地が良くなる。そこはこれからの計画の中で考慮してほしい。現在 600 いく  
つある中で、耐用年数が経過し、状態がよくないものは廃止していくと思うが、その後  
にどうするかを考えてもらいたい。住民が住みやすいように計画を立てていただきたい。

#### 【資産活用課 丸山係長】

例えば「市民いこいの家」では、浴場を廃止する際、地域住民からお風呂がなくなっ  
ては困るとの意見があった。対応策として、「くるみ家族園」との間にバスを運行した。  
施設を維持するのが理想だが、維持できなくなった場合でも必要な支援策、ソフト面も  
含め、住民の皆さんが住みやすく、サービスの低下につながりにくいような対策を考え  
ていく。ただ施設を廃止するのではなく、他にどのような手立てを講じれば不安が緩和  
できるかも併せて検討していく。

#### 【船崎会長】

他に質問や意見はあるか。

(発言無し)

以上で、次第 2 議題「(1) 報告事項」の「上越市公共施設等総合管理計画に基づく取  
組の対応(案)について」を終了する。

・資産活用課退席

次に、次第 2 議題「(2) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。先回  
の会議で具体的な取組が決まり、今回は正副会長で、植栽を通じて地域の交流を促す内  
容の審議テーマ名を提案する。テーマ名称について、資料 2 に記載している。資料につ  
いて事務局へ説明を求める。

**【村山副所長】**

- ・資料No.2 に基づき説明

**【船崎会長】**

ただ今の説明について、質問や意見はあるか。

(発言無し)

それでは、今期の新道区地域協議会の自主的審議事項の仮のテーマを「花でつながるシン・道」としてよいか。

(よしの声)

仮のテーマを「花でつながる シン・道」とする。今後協議を進めていく中で、よい意見が出た場合は、テーマ名称を見直すこととする。

次に本日の協議の進め方について、事務局の説明を求める。

**【村山副所長】**

- ・資料No.2 に基づき説明
- ・2つのグループに分かれ協議する。
- ・書記、発表も事務局が行う。

**【船崎会長】**

ただ今の説明について、質問はあるか。

(発言無し)

それでは、グループに分かれて協議に移る。

(各グループに分かれて協議)

それでは、Aグループから発表を求める。

**【Aグループ】**

船崎会長、横山副会長、草間委員、越水委員、山本委員、横田委員、渡邊委員

(発表：村山副所長)

地域の植栽の情報として、「鴨島 1 丁目町内会」と「富岡資源保存委員会」の活動について話があった。

花でつながる方法について、プランターを置くのもよいが、目立つことをしてはどうかといった意見もあった。具体的には、謙信公武道館の裏の雪捨て場になっている土地に、ヒマワリやコスモスを植栽してはどうかというもの。ただし、誰が管理するのか、どのように進めるのかなど、調整しなければならない点が多くある。

次に、新道地区活性化委員会が、病院や保育園、各地区に置いているプランターを可能であれば設置場所を増やして、商店や稲田のアーケード、銀行、個人の軒先にも置けるように、そういう取組を増やしていき、置くプランターに今回の「花でつながるシン・道」というテーマ名を入れて、つながる活動を広げるという意見があった。

#### 【Bグループ】

池亀副会長、佐藤委員、杉田委員、千町委員、田木委員、塚田委員、南保委員

(発表：渡邊係長)

宿題であった新道区で植栽を行っている団体の情報について、「富岡長生会」、「富岡資源保存委員会」、「上中資源保全会」、「子安新田町内会」、「鴨島一丁目生き生き老人クラブ」がそれぞれ活動しているとの回答をいただいた。後ほど皆さんと共有したい。

事業の詳細案については、テーマを一つ決めて統一感を出したい。各団体が植える花を同じ花にする、同じ色にする、保育園では折り紙で同じ色の花を折って飾ってもらう。また、新道村時代に“村の花”のようなものがあれば、復活させる。

継続するために、枯れにくく、水やりが少なくて済む手がかからない植物として、ハーブなどを植えて、収穫後、皆さんでお茶会をする。また、水を運ぶことが大変なので、橋上などでなく、水やりが楽な場所を選ぶ。

参加者の確保として、花が好きな方は結構いると思われるので、自宅前にプランターを置かせてもらえる方に協力をお願いします。また、団体に属さなくても個別に参加できる仕組みがあるとよい。例えば、雁木のあるところに竹灯籠をつけて、そこにLEDを入れて一輪挿しにする。そうすると夜も綺麗で、昼も夜も新道区で花を楽しめる。平場で灯火の回廊をしてはどうかという案もあった。

#### 【船崎会長】

以上で、次第2 議題「(2) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第3 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

#### 【渡邊係長】

・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

・次回の地域協議会：4月28日（火）午後6時から

新道地区公民館 多目的ホール（予定）

【船崎会長】

以上で、次第3その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第3その他「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

【村山副所長】

- ・地域協議会だより用紙の変更について

【船崎会長】

他に何かあるか。

(無しの声)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。